

著名工事 視察の手引

二月調査

大阪市高速地下鐵道工事（清水部長）

①工事箇所は次の三個所、(1)大阪駅前停留場の北半分にして國鐵大阪驛高架橋下に當る個所即ち地下鐵停車場、(2)御堂筋大江橋北詰淀屋橋南詰間、(3)淀屋橋南詰、本町電車通間②工事設計の特長、高速電氣軌道地下線路にして鐵筋混凝土及び鐵骨鐵筋混凝土構造を混用す、隧道天端路下十呎以上の深さ③工事設備、鐵板土留として空堀埋戻方法に依る、河底は河川を約半分宛締切施工す④工事現狀、第①項1及3は一月中に請負者決定し二月初より工事に着手す、2は三月初め入札の豫定、一月二十九日大阪市高速鐵道の起工式舉行⑤工事設計者、監督主任者、大阪市高速地下鐵道建設部長清水瀧氏、花井又郎氏、小川信次氏。工事關係技師河野資基氏、辻井寅之助氏⑥工事請負者、第①項1は清水組、3は大林組、2は未定。⑦竣工豫定、昭和六年中頃⑧視察道順、國鐵大阪驛下車、大阪驛構内北部及び御堂筋電車道を南へ大江橋を経て本町に至る⑨附近名勝、大阪市廳、日本銀行、本願寺北御堂。

最深のケーソン工事（工事主任）

①十三大橋工事（大阪市東淀川區十三南ノ町）②工事の特長は低水敷部に六個の潜函基礎を百尺下げ、洪水敷に十二個の橋脚、二個の橋臺の杭打基礎を施す。潜函の深度は日本に於ける最大のものなり③潜函工事用機械は復興局及鐵道省より借入④潜函工事送氣開始は三月十日の豫定、杭打基礎は一月六日より着手、⑤大阪府土木部長手島航氏、工務所長井下技師、潜函工事主任技師正子重三氏、⑥工事請負は大林組、現場主任技師有本猪太郎氏、⑦竣工豫定昭和六年十二月、⑧大阪梅田驛より阪急電車にて十三驛。

水路の淨化設備工事（河川課長）

①土佐堀川可動堰（大阪市土佐堀肥後橋下流）。②都市水路の淨化設備、③昨年竣工したる堂島川可動堰と同型式のテンダーゲート其他新設備を有す、④二月初旬現在工事現況は南岸50尺徑間及び21尺徑間の基礎工並に橋臺基礎工及び河底工中なり。⑤工博岡部三郎氏設計、大阪市役所土木部河川課施行監督、⑥工事請負者大林組、⑦竣工豫定昭和六年三月末。

②道頓堀川可動堰（大阪市道頓堀川大黒橋上流）。③都市水路の淨化設備、④堂島川可動堰と同設備を有す。⑤南岸橋臺及び橋脚建設及び24尺徑間テンダーゲート据付中、⑥工博岡部三郎氏設計、大阪市

目下工事中の著名なるものを視察せんとする人の手引として本欄を設く、旅行の序に視るも良し、わざわざ視察に行く讀者には工事書報社から御便宜を得らるる様に工事主任者へ御紹介を致しますから申込み下さい。

役所土木部河川課施行監督、⑥工事請負者池田勘藏氏、⑦竣工豫定昭和六年十一月。

淀川新橋（大阪市土木部）

①大阪都市計劃事業路線一等大路第三類第二十四號線（天滿蒲生線）②橋梁型式、三鉸拱橋徑間一〇八米③能力二五噸のゴライアスクレーンを桁組立に使用④工事現狀は下部構造及び接付鋼板桁徑間は殆んど完成、二月初旬三鉸拱助梁渡中⑤設計者、大阪市技師堀威夫氏、監督主任鈴木千代藏氏⑥工事請負者、大林組、汽車製造株式會社⑦竣工豫定、昭和五年七月中旬⑧附近名勝、櫻宮公園、造幣局

困難なる盤下工事（黒田課長）

①中央線トンネル盤下工事（鐵道省名古屋鐵道局改良課）②コンクリート道床に檢のアロック枕木を埋込む③運輸中の軌道を支持しつつ堀穿する爲めにIビームを數多く軌道に直角に並列。又小佛、深澤等の長大隧道には排煙装置を設備す④殆んど完成に近づき、目下深澤隧道は工事中なれども、之も三月中には竣工の豫定、⑤工事設計、監督主任者、名鐵改良課技師小林常氏、甲府保線事務所長森田翁氏⑥工事請負者、横溝組、藤原組、⑦竣工豫定昭和五年三月、⑧視察順路、小佛又は深澤、⑨附近名勝、猿橋、大野貯水地、甲府昇仙峯

丹那トンネル工事（川口所長）

①丹那トンネル工事（鐵道省熱海建設事務所）②工事現狀、東口水抜坑 10,119 呎、底設導坑 10,005 呎。西口水抜坑 11,088 呎、底設導坑 10,758 呎。(昭和五年二月三日現在)

清水トンネル工事（淺間所長）

①清水トンネル工事（鐵道省東京建設事務所及び長岡建設事務所）②昭和4年12月29日貫通日下切擴げ及び壘築工事中。

物見隧道工事（平山所長）

①因美線物見隧道（位置岡山縣吾田郡上加茂町物見及鳥取縣八頭郡那岐町宇塚に亘る中國山脈横斷）②物見隧道延長 3,074M, 76 にして内物見側 1,022²⁸27。勾配 $\frac{20}{1000}$ 。那岐側延長 1,849m49。勾配 $\frac{3}{1000}$ 。地質花崗岩、隧道型式新中間型、掘鑿方法第三導坑、三交代、三爆破、混凝土道床及地質に應じ側壁混凝土を避欠型に省略。③物見口工事用諸機械設備は發電所、空氣壓搾機インゲーツラング I00HIP 及 75HP。鑿岩機サリバン D×61。インゲーツラング BCRW430,

著名工事 視察の手引

ライナー 26, 足尾式。混凝土ミキサー、クラツツヤ一、ケーブル、ホイスト。排水用ポンプ等又那岐口も物見口と同じく、其の外換気設備及吊出用蓄電機關車。修理工場等あり。④昭和五年二月一日現在物見口導坑進行 1,065m。那岐口 833m にして一日兩口共平均進行 3.5m 位なり。⑤鐵道省岡山建設事務所。物見口工區主任、服部技手。那岐口工區主任、森技手。兩口兼務主任吉原技師。⑥物見口は株式會社橋本店、那岐口は鐵道工業株式會社請負。⑦物見口昭和六年七月、那岐口昭和六年九月竣工豫定。⑧物見口は因美南線美作加茂驛下車自動車にて約一時間半、那岐口は因美北線智頭驛下車自動車にて約三十分。⑨那岐口に那岐山あり。

吳 隧道 工事 (平山所長)

①三吳線隧道 (位置廣島縣加茂郡吳町地内) ②吳隧道延長 2,503m の内二工區分 1,820m 勾配 $\frac{55}{1000}$ 地質花崗岩隧道型式新中間型掘鑿方法第三導坑式。

混凝土道床及地質に應じ側壁混凝土を避穴型に省略。③吳隧道工事用諸機械設備は空氣壓縮機インカーソルランド 100HP2 臺及 75HP。鑿岩機サリバン D×61。インカーソル BCRw430。足尾式。混凝土ミキサー。換気設備修理工場。其他の設備あり。④昭和四年十二月十二日二工區分導坑掘鑿終了。⑤鐵道省岡山建設事務所。工區主任荒井技手。⑥株式會社松下組請負。⑦昭和五年八月竣工の豫定。⑧吳線吳驛下車電車の便あり。

新議院建築工事 (六熊部長)

①新議院建築工事 (麹町區永田町) ②現代日本の代表的大建築(本誌大正15年1月號參照) ③鐵骨工事。混凝土工事。石材工事等に機械的大設備あり

④鐵骨工事終了。混凝土及石積工事中なりしも、目下内部大理石張付工事に並に雜作工事に着手せり。⑤大藏省營繕管財局にて懸賞募集せる設計に依り案を執り同局工務部にて設計並に監督。工事場主任技師小島榮吉氏、現場分擔主任技師栗原忠一氏技師肥塚照次氏。工學士中榮一徹氏、⑥混凝土工事は全部直轄、他は部分的請負、⑦昭和10年、⑧東京驛より自動車往復20分、⑨首相官邸、藏相官邸、文相官邸、參謀本部等あり。

①警視廳新廳舎建築工事 (東京市麹町區櫻田門外) ②鐵骨鐵筋混凝土造6階建。延 8,700 坪、③混凝土工事機械諸設備。其他各種混凝土試驗器を備え合理的に施工しつつあり。④鐵骨工事を終り目下2階まで混凝土施工中。⑤大藏省營繕管財局工務部、⑥技師井上一之氏、請負は清水組。⑦和昭五月十二月。⑧東京驛より徒歩約15分、市營自動車並に電車は櫻

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現場 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

田門下車。⑩司法省、海軍省外務省等、尙徒歩の分にして新議院建築場に至る。

①貯金局廳舎新築工事 (東京市麻布區飯倉、舊徳川邸跡) ②鐵筋混凝土造4階建、一部地階共5階、延12,205 坪。帳簿保管の爲特殊の間取を爲す。③混凝土工事用機械設備あり。④混凝土工事を終り目下腰花崗岩石張り内部雜作工事中、全體の約6割強竣功、⑤大藏省營繕管財局工務部、⑥技師堀柴郎氏、請負錢高組、⑦昭和五年十一月、⑧東京市電麻布狸穴下車。

④印刷局印刷工場建築工事 (東京市外濠ノ川町西ヶ原) ②鐵骨混凝土造4階建延 9,043坪。紙幣及有價證券の印刷を一般人に參觀せしむる爲、特に中二階を設く。外に附屬家120坪あり。③混凝土機械設備、④全體の約6割強進行、⑤大藏省營繕管財局工務部 ⑥技師清水正喜氏 請負安藤組。⑦昭和五年八月。⑧東京市電駒込橋より王子電車にて一里塚下車約一丁。

中央郵便局新築工事 (藤本課長)

①中央郵便局新築工事 (東京驛前) ②鐵骨鐵筋混凝土造地上5階地下1階、延坪約 10,000 坪。地下電車を以て東京驛と連絡する設備あり、尙豫算の都合に依りコンベヤー・ジエート等を以て郵便物を區分する設備も施される筈。③鐵骨組立用テリツク3臺、混凝土工事はイナンテーターを使用、その他諸設備 ④大規模なる基礎工事を終り目下鐵骨組立中、二階床面部まで完了引き続き 3,4 階を組立てる月までに完了の豫定。混凝土打立の準備もなり3月上旬打立開始する筈。⑤逓信省經理局營繕課工事係、⑥逓信省經理局營繕課工事係關口技師。⑦昭和6年12月25日。⑧東京驛下車直ぐ前。東京驛、丸ビル、八重洲ビル等其他大ビルディング。

取引所新築工事 (中村技師)

①東京株式取引所本館 (東京市日本橋區兜町) ②鐵骨鐵筋コンクリート八階建延坪 7,672 坪外裝花崗石貼り、基礎は根切 17.6 尺のヶ所より米松末口10吋長50呎のものを打込む、昭和二年末竣工した市場建物 2,704 坪と合すれば實に一萬餘坪の大建築にして世界稀なる最新最善の取引所建物である ③川沿ひの敷地なる故相當の難工事であり、工事用諸設備を有す ④基礎事事中 ⑤設計監督、横河工務所、現場主任松本岩吉氏、⑥基礎工事請負者清水氏、上部建物工事請負者竹中組、他は直營 ⑦竣工豫定昭和六年二月 ⑧隣地に竣工せる取引所市場

第一銀行新築工事 (西村課長)

著名工事 視察の手引

①第一銀行新工專（丸の内永樂町二丁目）②鐵骨鐵筋コンクリート五階建、地下二階屋上二階、延坪 5,589 坪、耐震耐火構造として最も特色ある設計、特に混凝土は最も正確なる模範の工法に依つてゐる。③インテーター。パツチャープラント 2 組 最初より使用し、混凝土の合理的工法を確く實行してゐる。④殆んどコンクリート工事を終り、外装花崗石貼工事中。⑤設計 第一銀行建築係西村好時氏、顧問工博内藤多伸氏、⑥工事は清水組の實費清算請負に（現場主任桑畑四郎氏。⑦竣工豫定昭和五年九月。

京京市水道擴張工事（小野課長）

①工事箇所名稱（埼玉縣入間郡山口村、山口貯水池工事）②工事設計の特長、土堰堤。③工事設備、ターセル、シヨベル、ドラグライン等六臺、ターセル發電設備、パツチャープラント、砂利採取、篩分、碎石工場等 ④工事現場、堰堤取付の兩側山腹に中心壁混凝土工事施行の爲め掘鑿工事施行中（相當の難工事）⑤工事設計者、監督主任者、東京市水道局擴張課長小野基樹氏、東京市技師菅原正志氏 ⑥現場工事主任者、東京市技師松村章氏 ⑦竣工豫定、昭和六年度末 ⑧視察道順、池袋より武藏野電車にて一時間上山口驛下車徒歩約五丁。

兩國橋工事（東京市梁課長）

①兩國橋改築工事（東京市隅田川）②橋臺は從來のものに補強擴張して使用する。橋脚は舊井筒に併列して新に二個の井筒工を施す、橋型は近代的突桁路上鋼桁橋とす。③現在工事準備中（二月初旬調査）④設計は東京市土木局橋梁課技師瀧 達也氏、工事係主任技師小池啓吉氏、現場監督主任技師古川一郎氏 ⑤工事請負は間組 ⑥竣工豫定昭和六年 ⑦市電兩國橋下車 ⑧隅田川諸大橋、震災記念堂。

白ヒゲ橋工事（佐野技師）

①白鬚橋改修工事（東京府土木部）②三徑間タイプアーチ。橋長約 555 呎、橋脚井筒 ③デリック、ポンプ等特種の設備を有す、動力約 150 馬力使用 ④東側橋脚井筒は河底より 80 呎沈下、兩側橋脚井筒は河底より約 30 呎、沈下、兩者とも尚ほ目下沈下作業中 ⑤設計者東京府道路技師尾崎義一氏監督主任者東京府道路技師佐野利男氏 ⑥基礎工事請負者は大林組、鋼桁請負者は神戸川崎造船所 ⑦竣工豫定は下部構造昭和 5 年 5 月、上部構造昭和 6 年 8 月 ⑧視察道順は浅草吾妻橋より河蒸汽船にて白ヒゲ橋上陸 ⑨附近に百花園其他の隅田名勝地あり。

鐵道トンネル著名工事

①丹那トンネル工事（熱海海設事務所）②延長 25,614 呎、形狀、複線圓弧形高さ 22 呎 6 吋、幅 25 呎

本欄は次の順序に配列記載します。

- ①工事ヶ所名稱 ②工事特長 ③工事設備
- ④工事現場 ⑤工事設計及主任 ⑥工事施工者
- ⑦竣工豫定 ⑧道順旅費 ⑨附近名勝地

（勾配）兩坑門より四百四十分の一上り勾配西坑門爲點 5,822 呎より 11,451 呎間三分の一、（覆工）側壁は場所詰混凝土、穿拱は混凝土塊積（一部分煉瓦石を使用せし所あり）厚さは 2 呎 1 吋乃至 4 呎 5 吋半（掘鑿方式）主として奥太利式に依る（排水隧道）内法り高さ幅共に 6 呎排水能力一秒時間約 150 立方呎の排水専用隧道を主體隧道の左側に 50 呎以上を隔て全長に亘り築造す排水隧道の底面は主體隧道施工基面以下 5 呎 2 吋とす ④隧道掘鑿其他工事に動力とし總て電力を使用せり而して本隧道兩口諸設備は東口（熱海）主要遮降變壓機 3 個、高壓空氣壓機 3 臺、同轉變流機 2 臺、電氣機關車 5 臺、「ターボ」送風機 1 臺、パツチャープラント一組、西口（大竹）大竹火力發電所一個所、主要遮降變壓機 3 臺、高壓空氣壓機 3 臺、底壓空氣壓機 4 臺、同轉變流機 1 臺、電氣機關車 6 臺、換氣機 2 臺、材料運搬専用蒸氣鐵道延長約 2 哩、尙附帶設備として救護所を設し醫員を專屬せしむ ⑤工事現狀昭和 5 年 2 月 3 日。

底設導抗 東口 10,105 呎 西口 底設 10,758 呎
水抜抗 同 10,119 呎 同 11,088 呎
⑤鐵道省建設局、監督主任者、熱海線建設事務所長鐵道技師 川口愛太郎、現場監督者（熱海）派出所主任鐵道技師 岡野精之助氏、詰所主任 主事 幅島龍八氏、（大竹）派出所主任 鐵道技師 橋本鐵三郎氏、詰所主任 石川技師 發電所主任 鐵道技師 湊銀次郎氏 ⑥東口は鐵道工業株式會社主任田中仙太郎氏、西口は鹿島主任 櫻井金作氏。

東京地下鐵道會社第三期工事

①神田萬世橋一今川橋間 35ch79l、即ち約 $\frac{1}{2}$ 哩、
②工法は開鑿式に依るもの、28ch46L、隧道式に依るもの 7ch34L、此の隧道部分は萬世橋下の洞葉に接続するもので道路面下僅かに 20 尺の處に先端を有する故、掘鑿施工には多大の注意が拂はれてゐる
③隧道は半圓型複線式の大断面であるから掘鑿は側壁上部の一小部分に木材支保工にて進み設計通りの混凝土側壁を造り型枠の儘全周囲を混凝土にて埋戻して固め、而して次の一小部分の掘鑿を移り又之に混凝土を打込むと云ふ風に側壁と拱を九區分して施工し、最後に隧道内の掘鑿に着手する左右交互導坑式施工法である。シャフトは二ヶ所に設けエレベーター、ポンプ等の設備がある ④昭和四年六月起工式以來隧道着手、目下盛に進工中、今川橋方面土留鐵抗打込工事中 ⑤東京地下鐵道會社技師長遠武勇熊氏、計畫部長杉本三郎氏、工務課長前田廣治氏、電氣課長林昭徳氏、現場工事主任技師渡邊忠次氏、
⑥請負清水組現場主任渡邊技師 ⑦竣工豫定昭和六年春 ⑧神田小柳町に工事監督事務所あり。